

## 2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
公民	公共	2	公共 701	東京書籍	公共

目標 【学習指導要領】	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	法律や経済のしくみ、国際的な問題などについての理解を深め、社会を構成する一員としての意識を育てる。 身近な例について様々な視点で考える経験を通して、日々移行行く社会の中でも物事を自分の問題として考えられる力と習慣を身に着けさせる。 単なる知識の暗記にとどまらないようにする。
評価の観点	【知識・技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う姿勢がみられたか。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を育もうという学びへの意欲がみられたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち ー社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ー共に生きるための倫理	自らのこと、社会のことを理解し、考えられるようになるための様々な視点を身に着ける。 青年期、自己形成、公共空間や先人たちの思想や宗教について理解する。	第1回	5月(11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	第1部 「公共」のとびら 第3章 公共的な空間における基本的原理 ー私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	公共的な空間における基本原理を理解する。 民主主義やその課題、国会や内閣のしくみと役割について理解し、行政と住民のあり方について考える態度を身に着ける。	第2回				
	5月 (11月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第2章 法の働きと私たち	法の働きや種類、社会規範について学び、自分たちの生活が法と密接にかかわっていることを理解する。 法による規制とそれ以外の問題解決策について考え、幅広い視点で問題を解決する力を養う。	第3回	スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	市場経済のしくみ、市場の限界、選挙制度、有権者教育(講義)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月 (11月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第3章 経済社会で生きる私たち	経済のしくみや日本経済の歴史を理解する。持続可能な社会保障制度について主体的に考え、判断するための思考力を身に着ける。	第4回				
	6月 (12月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち	働くことについての考え方を養ったり、労働問題や労働に関する法律を理解したりして、未来の職業生活への意識づけを行う。 国際社会のしくみを学び、平和を守ろうという意識を高める。	第5回				
	7月 (12月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	国際平和や国際経済の課題について、自ら考える態度を養う。 持続可能な社会を作るために必要なことを考え続ける人になるという姿勢を身に着ける。	第6回				
	9月 (1月)	単位認定試験						考查
					面接指導(単位時間) 合計			1